

# ICANNルートサーバー諮問委員会 (RSSAC)関連報告

第42回 ICANN報告会

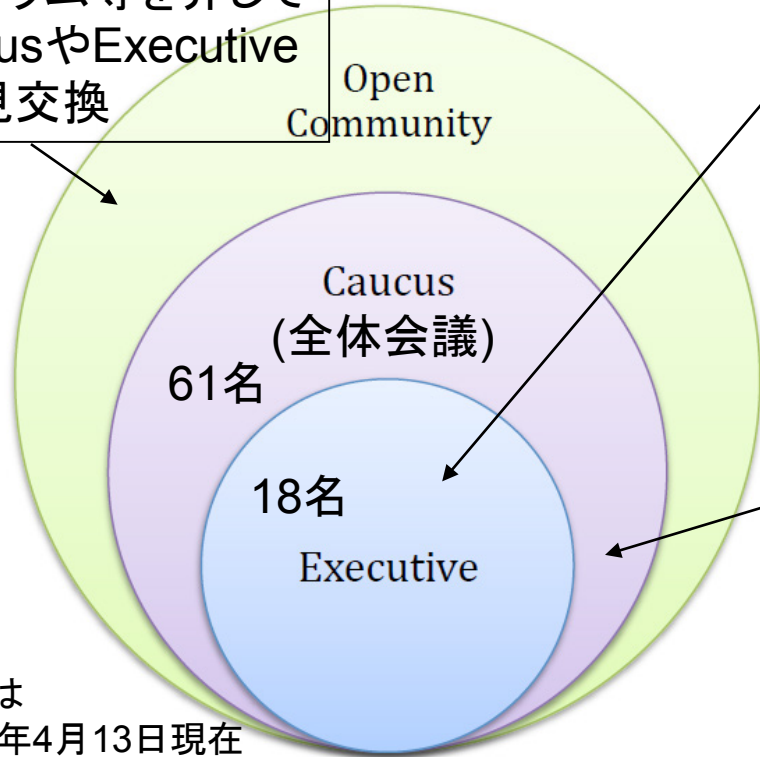
2015年4月14日

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)

堀田 博文 <hotta@jprs.co.jp>

# RSSACの構造

パブコメ、パブリック  
フォーラム等を介して  
CaucusやExecutive  
と意見交換



人数は  
2015年4月13日現在

- ICANN構造上正規に定義されたRSSAC**
- A~Mルートサーバーオペレータから各1名
  - ICANN(IANA部門)から1名
  - Verisign(ルートゾーン管理)から1名
  - NTIAのIANA関連部門から1名
  - IABリエゾンから1名
  - SSACリエゾンから1名
  - ICANN理事会リエゾンから1名

- RSSACの役割を果たすための検討、文書作成を行う専門家の集合
- メンバは自薦し、RSSACが任命 (基本姿勢：貢献希望者の参加は拒まず)

チェア2名



Tripti Sinha  
メリーランド大学  
D-root



Lars-Johan Liman,  
Netnod  
I-root

# 会合の開催

- RSSAC exec会合
  - 電話会議 1回/2週
    - M-Rootの正委員:村井純、代理委員:堀田博文
  - F2F会合 年3回 (主にICANN会合)
- RSSAC全体(RSSAC Caucus)会合
  - 物理会合 年1回 (IETF会合時)
  - 2015年3月22日ダラスにて初回会合
    - 会員61名中約40名が参加
    - RSSAC ExecutiveとRSSAC Caucusの活動手順の説明
    - 活動状況の共有
      - ルートサーバーのサービス仕様(要求仕様)の文書化
      - ルートサーバーの品質や性能の測定方針の文書化
    - 将来の活動項目に関するブレインストーミング

# コミュニティ活動への参加

- ICANN関連の多様な活動に助言委員会 (AC: Advisory Committee)の一つとして参加
  - NTIA stewardship transitionとICANN accountability discussions
    - 非常に重要な課題であるが、RSSACにとって問題となる点が出現するまでは、RSSACからの検討委員をリエゾンとして、検討状況をつぶさに見ておく
  - 一般的なマルチステークホルダー議論
  - ICANN理事として
  - ICANN指名委員会委員

：

# 独自の活動

- ルートサーバーのサービス仕様(要求仕様)の文書化
  - Infrastructure
  - Service Accuracy
  - Service Availability
  - Service Capacity
  - Operational Security
  - Diversity of Implementation
  - Monitoring and Measurement
  - Communication
  - Public Documentation
- ルートサーバーの品質や性能の測定方針の文書化
  - The latency in the distribution system
  - The size of the overall root zone
  - The number of queries
  - The query and response size distribution
  - The RCODE distribution
  - The number of sources seen
- TTLの見直し検討の開始
  - ルートゾーンにおけるレコードのTTLを適切な値に変更するための検討チームを組成し、正式に検討開始

# 村井純氏がRSSACへの貢献に関し受賞

